



KONICA MINOLTA

News Release

遺伝子診断サービスの国内本格展開を開始

LSIメディエンスとの提携による遺伝子診断サービスを本格展開

2019年5月10日

コニカミノルタプレジジョンメディシンジャパン株式会社

コニカミノルタプレジジョンメディシンジャパン株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：益尾 憲、以下 KMPMJ）は、株式会社 LSI メディエンス（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：渡部 晴夫、以下 LSIM）と、国内における遺伝子診断サービスの展開において提携を致しました。これにより、KMPMJ は国内の医療機関向けに遺伝子診断サービスの本格展開を始めます。

【遺伝子診断サービス】

KMPMJ は、当社の親会社であるコニカミノルタ株式会社（コニカミノルタ）の独自技術であるタンパク質分子標識・解析技術「High Sensitive Tissue Testing (HSTT)」や血中タンパク質の高感度診断技術「Surface Plasmon Field-Enhanced Fluorescence Spectroscopy (SPFS)」に加え、一昨年を買収した米国で遺伝子診断ビジネスのトップクラスの実績を持つ Ambry Genetics 社（AG 社）と創薬支援サービスで豊富な実績を持つ Invicro 社（IC 社）のサービスを展開し、国内における個別化医療の実現に向けて取り組んでおります。LSIM は、受託臨床検査を中核事業として全国の営業ネットワークを通じて幅広いヘルスケア領域事業の提供をしています。この度の提携により、KMPMJ の展開する AG 社の遺伝子診断の技術と米国における 20 年間のノウハウ・サービスと、LSIM のもつ国内ネットワーク網や検査事業におけるノウハウを融合し展開することで、国内における遺伝子診断の普及、個別化医療を推進してまいります。

【提携による役割】

本提携において、LSIM は医療機関との窓口業務を行うとともに、規制に則って検体の輸送（ロジスティクス）を担当します。KMPMJ は、LSIM から検体を受け取り遺伝子診断を行います。また、KMPMJ はアカデミアや医療機関に対して遺伝子診断の検

査内容や技術などに関する情報提供などを積極的に推進します。

【当社が提供する個別化医療における付加価値】

個別化医療の実現には「個」の状況を「疾病の推移」の中で正しく理解する診断が重要で、遺伝子変異のタイプ解析、治療法の選択と予後予測など多くの情報に基づき判断する必要があります。コニカミノルタと AG 社の技術基盤を個別または融合することで、疾病や体質をより深く知ることのできるサービスを提供します。今後、さらにサービス拡充・加速を行うことで医療の進歩に貢献します。また、これらの事業を通じて、患者に適切な治療法が提供される医療を支援し、医療の効率化や社会保障費の適正活用に貢献します。

【会社概要】

・コニカミノルタプレジジョンメディシンジャパン株式会社

KMPMJ は、コニカミノルタ独自のコア技術である HSTT、SPFS に加えて遺伝子診断サービス、医薬品開発支援サービス、画像解析技術などを通じて、国内における個別改良の実現、進歩に貢献するサービスを提供していきます。

・株式会社 LSI メディエンス

LSIM は受託臨床検査を中核事業をとし、他にも診断薬・機器、創薬支援のヘルスケア領域の事業を展開しています。これら 3 事業を通じて患者さんと健康を願うすべての人々へ提供し安心な社会の実現に貢献しています。

お客様お問い合わせ先

コニカミノルタプレジジョンメディシンジャパン株式会社

企画部 蘭田 kmpmj-press@gcp.konicaminolta.com